

あかね



人間の最大の罪は不機嫌である

校長
これはドイツの文豪ゲーテの言葉です。彼は、不機嫌でいることこそ人間の最大罪であると言っています。

私事で恐縮ですが、娘が中学生の時期、「お父さんって何かいつも怒りっぽいよね」と言われたことがありました。特に意識していなかったのですが、不満を感じている口調や表情をしていたでしょう、面と向かって言われた時、さすがにはっとしました。娘は親の心情を敏感に感じ取っていたのです。ひたすら反省した思い出があります。

ここで、ひすいこたろうさんの著書から、「あるラーメン屋での出来事」を紹介します。

お客が食券を買ってイスに座った。店員が「味噌ラーメンですね？」と確認すると、お客は「食券見ればわかるだろうが！いちいち確認すんじゃねーよ！」と怒鳴った。怒鳴られた店員は、ラーメンを作る店主にうつぶふを晴らすかのように怒鳴り声でオーダーを伝えた。店主は「何あいつキレてんだ」と、腹立たしい思いを引きずったまま帰宅。ビールでも飲んで気分を発散しようと冷蔵庫を開けたが、ビールが無かったので妻を怒鳴った。妻はイライラし、子供がピーマンを食べ残しているのを見つけて怒鳴りつけた。子供は翌日、学校で友達に因縁をふっかけてケンカになり、母親が学校に呼び出された。子供に事情を聞くと、昨晚母親から怒鳴られてモヤモヤしてケンカを起こしたことが判明。帰宅した母親が父親にその事を告げると、実は父親も職場で店員にキレられて、それを妻にあたってしまったとのこと。翌日、父親は店員に「何で昨日はいきなりキレたのか？」と問うと、不機嫌な客にむかつく対応をされたことが発端だったことが判明した。



このように「不機嫌は伝染する」のです。という事は、逆にご機嫌や笑顔も伝染していくと考えることができます。私たちが機嫌よく笑顔でいることを心がけると、相手に安心感を与えるだけでなく、周りの人を幸せな気持ちにさせることができるのです。

思い通りにいかないことは起きるわけで、常に機嫌よくなると簡単にできることではない、全くそう思います。それでも、心がけ一つで周りは変わるかもしれません。

生徒そして保護者の皆さん、笑顔の効果でどんどん幸せを引き寄せましょう。私も努力します。

生徒会・部活動紹介

4月13日(月)の6校時は、生徒会役員や部活動の正副キャプテンが新1年生を対象に、学校生活のきまりや生徒会活動の主な内容、そして部活動の紹介をしました。「北中生の一日」の流れを生徒会役員がソシオドラマで紹介し、本校の伝統的な取組である『0運動』についても説明をしてくれました。部活動紹介は、各部が工夫を凝らし、熱い思いを伝えてくれました。



避難訓練 (1年引き渡し訓練)

9日(土)は、全校生徒による地震を想定した避難訓練、及び1年生を対象にした原子力防災引き渡し訓練を行いました。災害が起きた際の動きを、生徒、職員、保護者と一緒に確認をすることができました。ご家庭においても、親子で話し合っって災害に備えておきましょう。1年保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



2年職業講話

9日(土)の2・3校時、キャリア教育の一環として2年生を対象に職業講話を実施しました。IT、医療、スポーツ、理美容など6業種の講師の方々をお招きし、働くことの意義や今後の進路選択の大切さなどを学びました。生徒たちは真剣に講話を聞いて、質問等をしていました。



3年マナー講座

9日(土)の2・3校時に、職場体験学習を控えた3年生を対象に実施しました。接客アドバイザーである高柳利恵先生から、職場での接遇について教えていただきました。

生徒の感想には、「将来、社会人になったとき、名刺の受け取り方は大切だなと思いました」、「身だしなみや表情、所作、姿勢、など大切だと学んだ」など、今後に生かしたいといった意欲的な感想が多く見られました。



P T A総会

4月30日(木)に、3年ぶりに対面で開催されました。令和8年度の活動計画、会則の改定等が話し合われ、承認されました。

P T A活動のすべては、北中の生徒たちの健やかな成長と教育環境の向上のためにあります。岩下純一会長を筆頭に新役員の方々をはじめ、全会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

～令和8年度川内北中学校P T A活動方針～
「思いやりの心と明るい未来ある自立への育成」



33クリーン作戦

5月8日(金)は、本中学校区の小中一貫教育における活動の一つである「33クリーン作戦」を実施しました。

中学3年生が校区内の出身小学校を訪問し、小学3年生と一緒に母校の清掃活動を行う活動です。

普段、児童では手の届かない所を中学生が拭き掃除したり、小中学生が一緒になわとびをしたりして交流を深めました。

小学校の先生方からは、立派に成長した卒業生の姿を褒めていただきました。



生徒の支援体制について

4月以降、新しい学年・クラスになって環境が変わり、これまでの自分を変えようと頑張っている生徒が多く見られます。

その一番の理由は、生徒の欠席が少ないことです。特に1年生が少なく、何人かに声をかけると「毎日学校が楽しい」と答えてくれる生徒もいてうれしく思います。一方で、不安や悩みがあって、保健室に来室する生徒も少しずつ出てきているのも事実です。

何か困ったことや耐えられないことなどがあれば、担任や副担任、部活動の顧問の先生、ほか話せる先生に遠慮なく相談してください。

また、本校には専門職であるスクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)や、特別支援教育支援員、そして敷地内にある「スマイル教室川内北」の支援員が配属されています。必要に応じて、その他の専門機関に繋いだり、ご紹介したりすることもできます。何かあれば学校(川内北中 0996-23-4164)にご相談ください。

きらり川内北中生、大活躍!

- 第27回全国中学選抜卓球大会
優秀校 女子第13グループ
女子卓球部
- 川薩連盟旗春季ソフトテニス大会 優勝
女子ソフトテニス部
- 川薩連盟旗春季ソフトテニス大会 優勝
男子ソフトテニス部
- 令和8年度会長杯争奪県卓球大会
中学女子団体 優勝 川内北A
女子団体C級 第3位 川内北B
中学男子団体 3位 川内北A
男子シングルス 3位
- 第28回 さつき大会 優勝
男子バレーボール部
- 阿久根光礁杯 優勝・第3位
男子バレーボール部

6月の行事予定

- 2日(火) 地区中体連総合体育大会(～3日)
- 9日(火) 前期中間テスト(～10日)
- 11日(木) 眼科検診(2年4～6組、1年全)
- 23日(火) 第1回学校保健委員会
- 24日(水) 地区総体水泳大会、学級専門部会
- 30日(火) 3年生合唱コンクール、学年P T A

